

# 三重大学

## 財務報告書2012

第9期事業年度

平成24年4月1日～平成25年3月31日

H25.3 附属図書館改修



三重の力を世界へ  
地域に根ざし、世界に誇れる独自性豊かな教育・研究成果を生み出す。  
～ 人と自然の調和・共生の中で ～

# 平成24年度決算の主な特徴

# 平成24年度財務諸表

## 安全・安心な教育・研究環境を整備

### 《老朽化した既存施設の機能向上》

- ・附属図書館改修
- ・(高野尾)総合研究棟改修
- ・共通教育校舎改修 他



【図書館改修】

### 《新しいニーズに対応した施設設備》

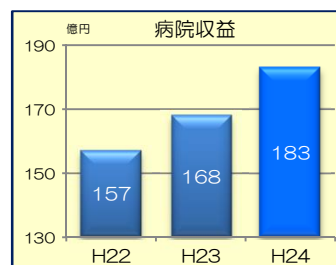
- ・病院外来・診療棟新築工事に着手(H26.12完成予定)
- ・地域イノベーション研究開発拠点施設新築工事に着手(H25.12完成予定)



【病院外来・診療棟新築工事】

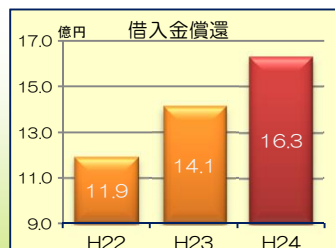
## 病院再開発の円滑な実施

- ・差額室料収益の増加
- ・高度な手術件数の増加
- ・前年度比 約15億円増(9%増)



## 既存施設の減価償却費、借入金償還の増

- ・病院にかかる減価償却費の前年度比 約10億円増
- ・病院再開発の進行により借入金償還額は年々増加



(単位:百万円)

財務諸表名等	資料の説明	内 訳 等	23年度	24年度	増 減 ※
① 貸借対照表	大学の財政状態	資 産	80,074	79,815	▲ 257
		(うち固定資産)	(68,385)	(66,551)	▲ 1,834
		負 債	45,496	46,096	600
		(うち借入金)	(26,348)	(25,804)	▲ 544
		純資産	34,578	33,719	▲ 859
② 損益計算書	大学の業務活動	費 用	37,964	39,040	1,076
		(うち人件費)	(18,919)	(18,486)	▲ 433
		(うち減価償却費)	(2,872)	(3,802)	930
		収 益	37,794	38,528	734
		(うち病院収益)	(16,796)	(18,311)	1,515
		損 益	▲ 170	▲ 511	▲ 341
③ 損失の処理に関する書類	損益発生要因	当期総利益(当期総損失)	▲ 170	▲ 511	▲ 341
④ キャッシュ・フロー計算書	大学の資金の流れ	業務活動	4,631	3,779	▲ 852
		投資活動	▲ 13,275	▲ 1,166	12,109
		財務活動	6,179	▲ 1,310	▲ 7,489
		資金期末残高	5,664	6,966	1,302
⑤ 業務実施コスト計算書	国民の皆様 の負担額	実施コスト	15,718	14,940	▲ 778
⑥ 決算報告書	収入・支出 の状況	収 入	47,993	40,680	▲ 7,313
		支 出	47,615	39,526	▲ 8,089
		収 支	378	1,154	776

※増減は[24年度]-[23年度]の差額を示します。以下、特段の断りがない限り同内容です。また、記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しているため、計は必ずしも一致しません。

# 貸借対照表

・24年度も計画的に設備投資を行い、安全・安心な教育・研究環境を整備  
 ・附属病院再開発・設備更新に伴う減価償却費・借入償還の増加

(単位:百万円)

## ①建物等 ▲約6億円

(前年度比)

増加額・・・約15億円

- ・建物・・・14億円
- ・構築物・・・1億円



建物:附属図書館改修【6.0億円】H25.3完成

減少額・・・▲約21億円

- 建物取壊・・・▲約1億円
  - 減価償却・・・▲約20億円
- MEMO

## ②機械備品 ▲約16億円

(前年度比)

増加額・・・約13億円

- ・工具器具・・・6.5億円
- ・医療機器・・・6.5億円

減少額・・・▲約29億円

- 機械除却・・・▲約1億円
  - 減価償却・・・▲約28億円
- MEMO

## ③建設仮勘定 +約6億円

(前年度比)

(※現在建設中の建物)

- ・外来・診療棟・・・約5億円
- ・インベション施設他・・・約1億円

資産の部	23年度	24年度	増減
(固定資産)	68,385	66,551	▲1,833
土地	11,976	11,976	0
建物等 ①	38,864	38,240	▲624
機械備品 ②	10,821	9,258	▲1,563
図書・美術品	4,150	3,955	▲194
船舶	1,667	1,512	▲155
建設仮勘定 ③	397	1,005	608
その他	12	10	▲2
無形固定資産	87	174	86
投資その他の資産	407	419	12
(流動資産)	11,689	13,264	1,575
現金・預金	7,163	8,466	1,302
未収金	4,061	4,288	227
(うち病院収入)	(3,250)	(3,365)	(115)
たな卸 (医薬品・診療材料他)	443	429	▲14
その他	20	79	59
	80,074	79,815	▲257

【MEMO】

H23'に資産が急激に増加しましたが、H24'からは多額の減価償却が発生します。

減価償却費の推移 ⇒



負債の部	23年度	24年度	増減
(固定負債)	35,592	34,845	▲746
資産見返負債	9,117	9,259	141
借入金 ④	25,111	24,412	▲699
リース債務	1,221	1,039	▲181
その他	141	133	▲7
(流動負債)	9,904	11,251	1,347
運営費交付金債務⑤	60	605	545
寄附金債務	2,799	3,006	206
前受受託研究費等	650	738	87
借入金 ④'	1,237	1,392	155
未払金	4,450	4,807	357
その他	705	700	▲5
純資産の部	34,578	33,719	▲858
資本金	17,485	17,485	0
資本剰余金 ⑥	12,011	11,710	▲301
利益剰余金	5,082	4,524	▲556
	80,074	79,815	▲257

## ④④'借入金▲約5億円

(前年度比)

病院再開発のための借入額残高を示しています。

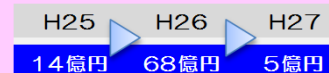
固定負債にある④借入金は期末の残金です。

流動負債にある④'借入金は25年度に返済する額です。

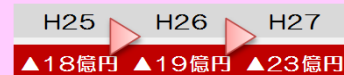
借入金は固定・流動の合計です。

H23'末総額 263億円  
 H24'新規借入額 + 7億円  
 H24'償還額 ▲12億円  
 H24'末総額 258億円

☆今後、外来診療棟整備のため「新規の借入」が増えます。



☆毎年の償還額(返済)も年々増えていきます。



## ⑤運営費交付金債務 +約5億円

(前年度比)

主に平成24年度補正予算で措置された以下の事項の経費です。

- ・非常用電源設備 2.5億円
- ・附属学校防災対策強化 2.0億円

## ⑥資本剰余金 ▲約3億円

(前年度比)

- 増額要因: 国庫補助金による新規固定資産の取得 +約11億円 (図書館改修等)
- 減額要因: 既存固定資産の経年による資産価値の減等 ▲約14億円

# 損益計算書

・減価償却費の増加に伴い「当期総損失」に

(単位:百万円)

## ⑦教育経費 +約1.7億円

(前年度比)

### 主な増加要因

- ・実験棟等の建物改修に伴う移転費などの費用 1億円
- ・授業料免除経費 0.4億円

## ⑧研究経費 ▲約0.1億円

(前年度比)

H24'は昨年の「動物実験施設改修」の補助金等がなくなり減少しました。

## ⑨診療経費 +約10億円

(前年度比)

病院収益増に伴い、医薬品等の費用が、また、資産にかかる減価償却費が増加しました。

## ⑩教育研究支援経費 +約1.5億円

(前年度比)

図書館の改修に伴い移転費や新規備品等の費用が増加しました。

## ⑪人件費 ▲約4億円

(前年度比)

H24.7月からの給与削減実施により減少しました。  
一方、附属病院については、より高度な診療サービスを提供するため、メディカルスタッフが増えています。

## ⑫固定資産除却損 +約5億円

(前年度比)

- ・旧附属病院東病棟取壊しにかかる費用 3億円
- ・図書館改修工事、引越に併せて処分した図書償却費 2億円

費用の部	23年度	24年度	増減	収益の部	23年度	24年度	増減
経常費用(A)	37,711	38,487	776	経常収益(B)	37,736	38,165	429
業務費	36,226	36,961	734	運営費交付金収益⑬	12,718	11,043	▲1,674
教育経費 ⑦	1,295	1,471	177	(うち標準運営費交付金)a	(9,819)	(8,964)	(▲855)
研究経費 ⑧	1,543	1,529	▲13	(うち特殊要因運営費交付金)b	(2,222)	(1,400)	(▲822)
診療経費 ⑨	12,460	13,501	1,041	授業料等収益 ⑭	3,770	4,149	379
教育研究支援経費⑩	386	536	149	附属病院収益 ⑮	16,796	18,311	1,514
受託研究費等	1,623	1,435	▲187	受託研究等収益	1,639	1,469	▲168
人件費 ⑪	18,919	18,486	▲432	寄附金収益	543	620	76
(うち病院分)	(6,822)	(7,109)	(286)	財務収益	10	9	0
一般管理費	1,077	1,116	39	補助金等収益	629	749	120
財務費用	407	409	2	施設費収益	102	228	124
(B)-(A)				資産見返負債戻入	902	1,002	100
経常利益(損失)(C)	25	▲321	▲346	雑益	625	581	▲43
臨時損失(D)	253	552	299	臨時利益(E)	58	326	269
固定資産除却損⑫	33	508	475	除売却資産見返負債戻入	13	240	227
減損損失	215	0	▲215	徴収不能引当金戻入益	0	8	8
その他の臨時損失	4	44	39	その他の臨時利益	45	78	33
(C)-(D)+(E)+(G)				目的積立金取崩額(G)	0	35	35
当期総損失	▲170	▲511	▲341				
	37,794	38,528	734		37,794	38,528	734

## ⑬運営費

### 交付金収益 ▲約17億円

(前年度比)

#### a 標準運営費交付金 ▲8.6億円

(給与削減相当の減 ▲8.0億円)  
(大学改革促進係数による減 ▲1.0億円)  
(授業料免除実施費他 +0.4億円)

#### b 特殊要因運営費交付金 ▲8.2億円

(病院移転経費の減少等)

## ⑭授業料等収益 +3億円

(前年度比)

収益額には「固定資産」は含まれていません。  
H24'は前年度に比べ固定資産の取得が減少し、それに伴い収益額が増加しました。

## ⑮附属病院収益 +15億円

(前年度比)

新病棟完成後の実績が初めて計上されました。  
差額室料収益の増加や、高度な手術の件数増などにより収益増となりました。

### ～今後の附属病院について～

H25'からは「7:1看護配置加算」がスタートします。  
今後も順調に医師・看護師が増加すれば、県内でも要望の高い「救急医療」等の診療行為をより活発に行うことができます。  
また外来診療棟の完成により、一層高度で総合的な医療の提供が期待できます。

### 【MEMO】

#### 当期総損失について

当期総損失を計上しましたが、主な損失要因は減価償却費の増によるもので、現金の支出は伴いません。



# 損失の処理に関する書類(案)

(単位:百万円)

I	当期末処理損失 (貸借対照表に計上)	▲ 511	
	当期総損失 (損益計算書に計上)	▲ 511	
II	損失処理額		
	前中期目標期間 繰越積立金取崩額	511	511
III	次期繰越欠損額		0

H24'は大幅な減価償却費の増加により「当期総損失」になりました。  
【H25.3.31時点の状態】

「当期総損失」を計上した場合・・・翌年度(H25')に法人当初から積み立てた「前中期目標期間繰越積立金」(BS上の利益剰余金内)を取り崩しますので、損失にはなりません。  
(会計基準：第70)  
【H25.12頃に振替予定】

独特な会計処理により、H24'損失分はH25'に帳簿上の積立金から差し引くため、翌年度への影響はなくなります(H25.12文科省承認予定)  
H24'の主な損失要因は減価償却費の増によるもので、現金の支出は伴いません。

# 業務実施コスト計算書

Q：業務実施コストとは？

A：大学業務の実施に必要な経費のうち、税金で負担してもらっている額を示したものです。

(単位:百万円)

項目	内容	23年度	24年度	増減
○ 大学運営に必要なコスト	教育・研究・診療経費,人件費 等	37,964	39,040	1,076
○ 自己収入	授業料,病院,寄付金収入 等 (主に運営費交付金を除く)	▲ 23,572	▲ 25,366	▲ 1,794
○ その他	減価償却費の控除 等	1,326	1,267	▲ 59
業務実施コスト		15,718	14,940	▲ 778

H24'は「運営費交付金」「補助金」が減り、病院収入等の自己収入が増加したため、国民の負担額(税金)の負担が減少しています。

# キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

項目	内容	23年度	24年度	増減
業務活動	大学運営で行われる通常の収支	4,631	3,779 <sup>②</sup>	▲ 852
投資活動	設備投資(固定資産取得)や資金運用	▲ 13,275 <sup>α</sup>	▲ 1,166 <sup>③</sup>	12,109
財務活動	設備投資の借入や返済額	6,179 <sup>β</sup>	▲ 1,310 <sup>④</sup>	▲ 7,489
資金期末残高		5,664 <sup>①</sup>	6,966 <sup>①+②+③+④</sup>	1,302

H24'は前年度に比べ現金(キャッシュ)の流れ(フロー)は穏やかでした。  
【H23'は新病院の完成に伴い多くの資産を取得(α)し、多額の借入金(β)があったため現金の流れは活発でした】

# 決算報告書

(単位:百万円)

	23年度	24年度	増減
収入	47,993	40,680	▲ 7,313
運営費交付金	12,856	11,930	▲ 926
附属病院収入	16,346	18,168	1,822
学生納付金他	4,949	4,940	▲ 9
施設整備費	1,916	1,789	▲ 127
その他	4,155	3,161	▲ 994
新規借入金	7,771	693	▲ 7,078
支出	47,615	39,526	▲ 8,089
人件費(病院分)	18,315	17,756	▲ 559
教育研究経費	2,330	2,067	▲ 263
診療経費	10,819	11,177	358
一般管理費	1,167	1,444	277
施設整備費	9,687	2,482	▲ 7,205
その他	3,885	2,970	▲ 915
借入金返済額	1,412	1,630	218
収支	378	1,154	776

国における会計認識基準に準じ、現金主義を基礎としつつ、一部発生主義を取り入れて、国立大学法人等の運営状況を収入・支出ベースで報告するものです。  
収入は附属病院収入が差額室料収益の増などにより増加しました。  
支出は、国に準じた給与削減により人件費が減少しました。

